KÄRCHER



導入事例:株式会社ほくとう様

建設機械の洗浄時間を半減！頑固なアスファルト汚れも温水だけでしっかり落ちる

導入企業インタビュー
WEB・動画はこちら

業務上の課題

建設機械（建機）のレンタル返却後の洗車に時間がかかり、次の出庫に向けた準備のボトルネックになっていた

固まったアスファルトの汚れ（アスファルト合材）は、バーナーで加熱してから剥がす作業が必要。時間がかかり危険も伴っていた

導入後の効果

【洗浄時間が半減】建機の洗浄時間が約半分に短縮され、点検・整備など次の工程に時間を回せる余力が生まれた

【アスファルト合材の除去が簡単】バーナーを使わずに、温水高圧洗浄機だけで合材を落とせるようになり、洗浄人員も2人から1人に削減できた

導入企業

建設機械もコンテナハウスも、地元の幅広いニーズに応える建機レンタル業



株式会社ほくとう 青森支店 サービス課長 松橋研二氏

青森県八戸市に本社を置く株式会社ほくとうは、東北エリア（青森・岩手・秋田・宮城・福島）に36店舗を構える、東北有数の建設機械（建機）レンタル・販売企業である。

土木・建築・舗装工事などの事業者に向けて、ダンプカーやショベルカー、道路を舗装する重機（アスファルトフィニッシャー）などはもちろん、現場の事務所となるコンテナハウスや仮設トイレ、イスやテーブルなどの事務備品に至るまで総合的にレンタルや販売を行い、地域の工事現場を支えている。

株式会社ほくとう 青森支店 サービス課長の松橋研二氏は、近年はイベントや災害時の備品レンタルも展開し、地元の多様なニーズに応えていると話す。

「ねぶた祭りなど、県内のお祭りにも機材をレンタルしていますし、鳥インフルエンザなどの急な事案、災害時にも貸し出しています」

そんな地域を代表する建機レンタル会社で、ケルヒャーの温水高圧洗浄機（HDS 10/19 M）を導入したのはなぜなのか。松橋氏と現場でHDS 10/19 Mを実際に使用しているサービス担当の小山内伸吾氏に話を聞いた。



株式会社ほくとう 青森支店。幅広いレンタル製品を揃える

導入のきっかけ

洗浄は、必ず発生するボリュームのある業務。特にアスファルト汚れの除去は、時間もかかり危険も大きかった

建機レンタル業では、建機が返却されてくると洗車・点検・整備を行い、次の出庫に備える。洗車は返却後にまず発生する大きな作業だが、株式会社ほくとうでは、頑固な土の汚れや固まったアスファルト汚れ（アスファルト合材）など、落ちにくい汚れへの対応が負担になっていた。

特に、アスファルトフィニッシャーやダンプカーの荷台、ショベルカーのバケットなどに付着して固まったアスファルトの合材を剥がすのは、労力がいる作業である。合材は80℃前後で軟らかくなるため、温め直してから剥がす必要があるのだ。

「合材は、プロパンバーナーで炙って溶かしてから剥がし、最後に温水高圧洗浄機で洗って落としていました。バーナーを扱うので危険も伴いますし、零下まで気温が下がる冬は、既存の温水高圧洗浄機では温度が上がりにくく、落とすのに時間もかかっていましたね」と松橋氏は振り返る。

そんな時、松橋氏が薦められたのがケルヒャーの温水高圧洗浄機（HDS 10/19 M）だった。他の支店で先に導入しており、社内でその評判を聞いたのだ。

「“アスファルトの合材も落とせるよ”と言われて、2025年の12月にデモ機を使ってみたんです。試してみたところ、思った以上に高圧で、出てくるお湯の温度も約100℃まで上がり、合材がすぐに取れました。洗車時間の短縮も見込めそうだったので導入しました」



デモ機を試運転した松橋氏は、「思った以上に高圧で、一網打尽という感じだった」と表現

導入後の効果

作業人員50%減。アスファルトの合材も、落ちにくい足回りの土も落としやすく



株式会社ほくとう 青森支店 サービス担当 小山内伸吾氏

HDS 10/19 M導入後、落とすのに苦労していたアスファルトの合材は高圧洗浄機のみで落としやすくなり、バーナーを使う危険な作業も減らすことができた。

「アスファルトフィニッシャーの場合、これまではバーナーを使った作業と洗浄作業で1人、電気系統の点検・整備に1人と、通常は2人で作業を行っていましたが、バーナーによる作業が不要になり、洗浄時間も短くなったため、1人で行えるようになりました」と、松橋氏。

アスファルトフィニッシャーは特に洗浄が大変な重機だが、洗浄・整備にかかる人員を、2人から1人へ減らすことができたのだ。

また、HDS 10/19 Mをほぼ毎日使っているという小山内氏は、建機の足回りにこびりついて固まった土の汚れには、高圧のお湯を回転させながら噴射するサイクロンジェットノズルが、パワーがあって最適だという。

「重機の足回りの土は本当に落としにくいのですが、ケルヒャーのサイクロンジェットノズルだと、一気に土を飛ばせる力があるのでいいですね」

土を落とすために、これまでは洗剤も使用していたが、HDS 10/19 Mを使うようになってからは洗剤も使わずに済んでいるという。足回り以外の部分は、広い範囲が洗えるエコブースターノズルを使うなど、ノズルを使い分けている。



足回りの乾いた土を、強い噴射力で一気に飛ばせる「サイクロンジェットノズル」の使用頻度は高い



車体に合わせて複数のノズルをワンタッチで取り替えられるため、洗車時間の短縮につながる



小山内氏は、ほぼ毎日HDS 10/19 Mを使用しているが、半年使ってみて故障などはないという

重機の洗浄時間を50%短縮。出庫準備に余裕が生まれた

HDS 10/19 M導入以降、20トンクラスの車体では、それまで2時間から2時間半ほどかかっていた洗車時間が1時間程度で終わるようになった。洗車時間の短縮は、同じ時間内に対応できる洗車台数の増加にもつながる。

小山内氏は体感として次のように話す。

「大きい重機だと、今までは午前中に2台洗浄できるかできないか…というくらいでしたが、今では3台近く洗えています。重機の足回りを洗うという作業だけでも、すごくスピードが上がったので、洗車できる台数が増えました」

こうして洗浄の時間短縮が現場全体の余力を生み、点検整備の工程に時間を回しやすくなったことで、突発的な出庫対応にも応えやすくなったという。結果として、建機の稼働率向上にもつながる可能性が生まれている。



広い範囲を一度に洗える「エコブースターノズル」は、汚れが少ない車体の上部を洗うのに便利だ

操作性･使用感

手元で圧力を調節できるのが使いやすいポイント

小山内氏は、既存の他社製高圧洗浄機と比べてHDS 10/19 Mを重宝している点として、手元で水圧を無段階で調節できる「サーボプレスユニット」を挙げる。

「既存の温水高圧洗浄機は、機械の扉を開き、工具を使って内部を操作すれば水圧の調節もできるのですが、手元で調節することはできませんでした。HDS 10/19 Mは手元で簡単に水圧を変えられるので、使い勝手が全く違います。落ちにくい汚れに対しては強くし、それ以外は圧力が低い状態でも十分に土が飛ぶため、弱めて使うなど使い分けています」

落ちにくい汚れには強圧、それ以外は弱圧といった臨機応変な切り替えを、作業を止めずに行えることが、作業能率の向上につながっているという。



中央の黄色い部分が「サーボプレスユニット」。左右に回すことで水圧を調節できる

建機レンタル業の強い味方

建機レンタルの洗車の負担を減らし、出庫準備をスムーズに



ハンドル（トリガーガン）が軽く、長時間の使用も楽だという。HDS 10/19 Mは、建機レンタル業の洗車の負担を軽減してくれる戦力となる

建機レンタルの現場では、返却された建機を「洗って･点検して･すぐ出庫できる状態にする」ことが日常だ。その最初の工程となる洗車をスムーズに行うことができれば、点検･整備など次の工程へ時間を回す余力も生まれ、ひいてはレンタルの稼働率向上にもつながる。

温水高圧洗浄機は単なる“洗う道具”ではなく、企業の収益性向上にも貢献する“重要な戦力”だといえる。HDS 10/19 Mは、建機レンタルの現場をよりスムーズに、より安全に回すための強い味方になってくれるだろう。

導入製品



温水高圧洗浄機
HDS 10/19 M

アクセサリー



サイクロンジェットノズル



エコブースターノズル

取扱店

製品に関するお問い合わせ先
ケルヒャー ジャパン株式会社
■ 業務用製品コールセンター
TEL:045-777-7410 FAX:045-777-7411
受付時間 9:00～17:00／月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）
http://www.karcher.com/jp/pro-contact